

令和5年度 事業報告

令和5年度においては、引き続き膜構造及び膜材料の一層の普及・発展に向け、膜構造の品質確保のための各種技術標準の整備、講習会・見学会等を会員の協力を得て円滑に実施するとともに、一層の普及に向けた制度改善について国土交通省等との協議調整を進めた。

また、今後の協会及び会員の活動に資するため、近年の膜構造等の普及における課題や社会経済情勢等を踏まえた調査研究活動を実施した。

国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業については、建築材料品質性能評価事業及び型式適合認定事業を適切に実施した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）について

- (1) 検討を進めてきた「仮設空気膜構造設計規準」を当協会ホームページにて公開した。また、令和5年度通常総会後の事業報告会において、技術標準の改訂等を報告した。
- (2) 膜体加工工場登録制度について、7工場の審査を行い登録した（継続6工場、新規1工場）。また、高度な品質管理を行う工場として2工場の認定を行った。（現在の登録工場数は、A種、B種、C種及びテント倉庫用膜材料の加工：6工場、B種、C種及びテント倉庫用膜材料の加工：14工場、膜構造用フィルムの加工：4工場。認定工場数は、A種膜構造の加工：4工場、B種、C種及びテント倉庫用膜材料の加工：5工場、膜構造用フィルムの加工3工場。協会ホームページに掲載。）
- (3) 「膜施工管理技術者講習」を、令和6年1月30日及び31日に実施し、S種16名、M種8名が受講し、講習後の考査を経てS種13名、M種7名を登録した。（現在登録者数 S種77名、M種24名、R種4名、計105名。協会ホームページに掲載。）
- (4) 「定期点検者講習」を令和5年11月15日に実施し、37名が受講した。講習後の考査を経て37名を登録した。（現在登録者数：151名。協会ホームページに掲載。）
- (5) 大臣認定を受けた膜材料の定期的な第三者試験の実施に対する補助など、品質管理の推進に係る助成を引き続き行った。

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）について

- (1) 今後の一層の安全性向上に資するため、本協会に保管されている定期点検報告の維持管理に係る情報を活用に向けたデータの抽出作業を実施した。
- (2) 欧州におけるフッ素系材料の使用制限に対し、関連団体、利害のある事業者等の動きの把握に努め、会員と連携してパブリックコメント提出を行った。
- (3) 膜構造の低炭素性のアピールに向け、「膜構造に係るCO₂発生原単位算出WG」を設置し、検討を開始した。
- (4) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。

- (5) 「膜構造ジャーナル2022」について、投稿された研究論文について審査を了したものを投稿された技術情報等とともに年報として公開した。また膜構造ジャーナル2023について募集及び審査を行った。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）について

- (1) 協会ホームページにおいて、膜構造に関する基礎的な情報、知見の提供、協会事業等に関する最新の情報発信を図るとともに、調査研究成果の活用に向け成果の公表を行った。また、協会パンフレットの改訂作業を行った。
- (2) 設計者、自治体等担当者向けの施設見学会について、各都道府県の建築士事務所協会、施設見学会参加者等へのアンケート調査を行い、参加を促す方法について検討を行った。
- (3) 会員向け施設見学会を3月1日に近畿地方において実施した。見学先：桃山学院（膜天井）、星野リゾート OMO7（車窓からの見学のみ）、大和西大寺駅前（膜構造用フィルム）、安満遺跡公園（B種膜、ふわふわドーム）、大阪空港（膜構造用フィルム）
- (4) 会員の若手職員向け見学会・交流会を2月8日に開催した。見学先：平岡織染（株）滋賀ターポリン工場、太陽工業（株）瑞穂工場
- (5) 令和5年度通常総会後に事業報告会を開催し、調査研究の成果及び技術標準の改訂についての周知を図った。
- (6) 膜構造・膜材料の一層の普及に向け、優れた取組みを表彰するため表彰対象の募集を行い、応募された表彰対象の審査を進めた。

4 性能評価事業等（行政代行事業ほか）について

- (1) 指定性能評価機関として、4件の膜材料に係る評価を行い、国土交通大臣への認定申請を行った。また、国土交通大臣の認定を受けた膜材料に係るサンプル調査の実施に協力した。
- (2) 膜構造に係る型式認定に係る指定認定機関として、4件のテント倉庫建築物の認定を行った。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査として、1件の審査を行った。

5 会議の開催状況

(1) 総会

令和5年度通常総会を6月19日に開催し、令和4年度事業報告及び決算が承認され、令和5年度事業計画及び収支予算の報告を行った。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（6月1日）

令和4年度事業報告及び決算、通常総会の議案に関する審議を行った。

② 第2回臨時理事会（8月16日、書面）

協会への入会申請に係る審議、欧州におけるPFAS規制への対応としてのパブコメ提出などの審議を行った。

③ 第3回臨時理事会（10月31日）

型式適合認定業務に係る国土交通大臣の指定の更新申請に係る件の審議を行うとともに、理事の職務執行状況の報告を行った。

④ 第4回通常理事会（令和6年3月29日）

令和6年度事業計画及び令和6年度予算の承認、令和6年度通常総会の開催の決定、電子取引データの管理に係る規程整備、謝金等支出規程改正などの審議、定款改正に係る協議等を行うとともに、表彰の選考状況などの報告を行った。

(3) 企画運営委員会

委員会を3回開催し、理事会付議事項及び報告事項の確認、協会の運営に係る重要な事項の等の協議を行った。このほか、急ぎ協議が必要な案件について書面（メール）協議を行った。

(4) 品質・技術研究委員会

令和5年度中の委員会はなく、開催に向けた調整・準備を行った。

(5) 普及情報委員会

委員会を3回開催し、膜構造普及のための講習会の実施、会員向けの施設見学会の実施、パンフレットなど協会の情報発信事業に関する討議を行った。

(6) 維持保全専門委員会

委員会を3回開催し、定期点検報告書23件の審査を行った。

(7) 工場登録専門委員会

委員会を2回開催し、工場登録及び認定に係る工場審査等の審議を行った。

(8) 性能評価委員会

建築材料品質性能評価委員会を3回開催し、膜材料4件の性能評価を行った。

(9) 型式適合認定委員会

委員会を3回開催（うち1回は書面審議）し、3件についての審査を行った。

(10) 性能評価業務及び型式適合認定業務に係る監視委員会

委員会を1回開催し、令和4年度業務に係る審議を行い、国土交通大臣に報告を行った。

(11) 膜構造技術審査委員会

委員会を1回開催し、申請された技術審査案件の審議を行った。

(12) 表彰委員会

委員会を2回開催し、表彰対象の募集に係る審議を行うとともに、委員会委員による現地調査及び応募者からのプレゼンテーションを含め表彰対象の審査を行った。

6 会員の動向

	令和5年度末	令和4年度末
第1種正会員	19社	19社
第2種正会員	15社	16社
第3種正会員	83名	88名
第4種正会員	6社	6社
賛助会員	1社	1社
合計	124会員	130会員